

新潟市水道事業経営計画
～マスタープラン2034～
前期実施計画
(令和7年度～令和11年度)



すべてのお客さまに信頼される水道

令和7年3月

目次

- 1 実施計画の策定趣旨と位置づけ . . . P.3～6
- 2 事業計画 . . . P.7～41
- 3 財政収支計画 . . . P.42～47



1 実施計画の策定趣旨と位置づけ

- ・ 策 定 趣 旨
- ・ 位 置 づ け

1.実施計画の策定趣旨と位置づけ

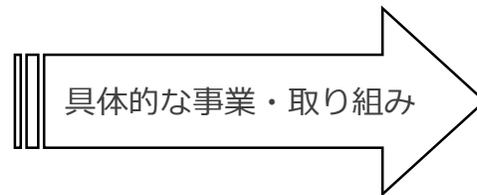
・策定趣旨

本市では、将来にわたって「すべてのお客さまに信頼される水道」を基本理念とした、今後10年間の事業運営の指針となる「新潟市水道事業経営計画～マスタープラン2034～」(以下「マスタープラン」)を策定しました。

このマスタープランで掲げた目指す方向性を実現するために、具体的な事業・取り組みと評価指標、財政収支計画などを定めた「マスタープラン実施計画」を策定し、計画的かつ効率的に事業を推進していきます。



新潟市水道事業経営計画～マスタープラン2034～



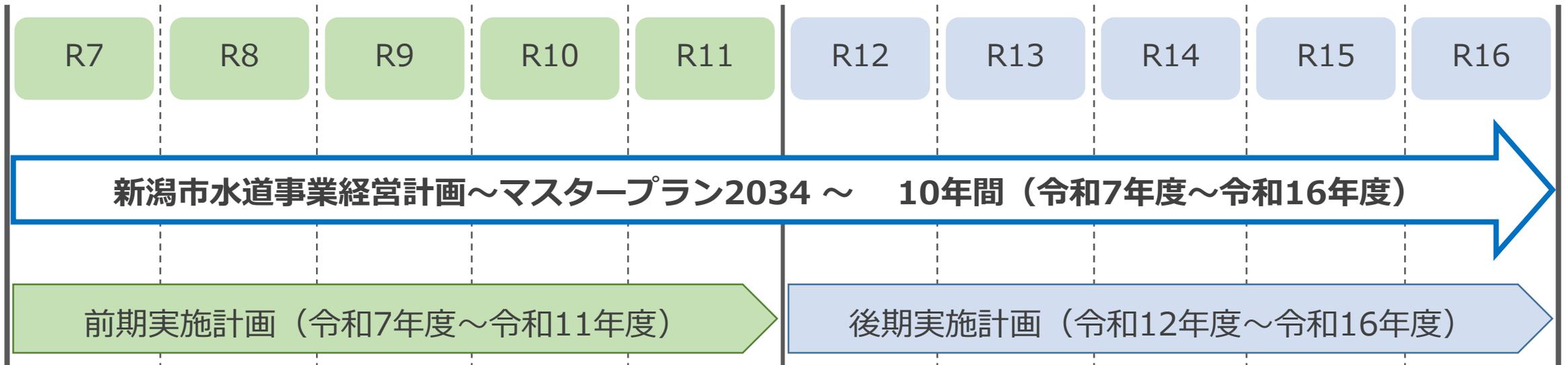
新潟市水道事業経営計画 前期実施計画

1.実施計画の策定趣旨と位置づけ

・位置づけ

「マスタープラン実施計画」は、毎年度行う進捗管理の結果を踏まえ、計画と実績の隔たりとその原因を分析し、目標達成に向けた事業・取り組みを適宜見直すため、計画期間10年を前期・後期の2期に分けて策定します。

令和7年度から令和11年度の5年間における「マスタープラン前期実施計画」では、目指す方向性である「安全」「強靱」「持続」「健全」を実現するために、8つの「施策」を設け、29の「事業・取り組み」を行います。



1.実施計画の策定趣旨と位置づけ

・位置づけ

【基本理念】 「すべてのお客さまに信頼される水道」



安全

安全でおいしい
水道水の供給

強靱

強靱な施設・体制
による給水の確保

持続

環境の変化に柔軟に対応
した水道サービスの持続

健全

後世に健全な水道を引き
継ぐための経営基盤強化

マスタープラン前期実施計画

8つの施策、29の事業・取り組み



事業計画

- ・ 前期実施計画（事業・取組内容と目標設定）
 - 安全 1、2
 - 強靱 1、2
 - 持続 1、2、3
 - 健全 1

2.事業計画

- ・前期実施計画（事業・取組内容と目標設定）

安 全

安全でおいしい水道水の供給

すべてのお客さまに、いつでもどこでも、安全でおいしい水道水を供給する水道を目指します。

施 策		事業・取り組み	
安全 1	水質管理の充実・強化	1	水源水質の監視
		2	水安全計画の充実・適切な運用
		3	水質管理体制の充実
		4	新潟市独自の管理目標による水質管理
		5	分かりやすい水質情報の提供
安全 2	給水装置工事の品質向上	1	指定給水装置工事事業者の技術力向上

事業・取組名	安全 1 - 1					水源水質の監視				
目指す方向性	安全	◎	強靱	○	持続		健全			
事業の目的	同一の水源を利用する水道事業体や関係機関と連携し、情報共有体制の構築や河川の水質調査を行うことにより、浄水処理への影響を未然に防ぎます。									
取組内容	<p>○ 水源の監視・調査</p> <ul style="list-style-type: none"> 信濃川・阿賀野川両水系水質協議会（両水協）および水質汚濁対策連絡協議会と連携し水源監視を実施します。 灯油流出など水質事故時の緊急連絡について、関係機関と情報共有を確実に実施します。（365日24時間） 水道原水の水質調査を実施します。（取水地点から河川上流域の水質を調査） 浄水施設での対応が困難な物質を監視します。特に、水道水質基準以外であっても人体に影響を及ぼすおそれがある項目を調査します。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	河川水質事故による水道水への影響 （水道水への影響回数／河川水質事故の緊急連絡回数）					0回	0回	0回	0回	0回
	水道原水の水質調査 （上流調査の回数）					2回	2回	2回	2回	2回
浄水施設での対応が困難な物質の監視 （対象項目の検査回数）					4回	4回	4回	4回	4回	



事業・取組名	安全 1 - 2					水安全計画の充実・適切な運用				
目指す方向性	安全	◎	強靱	○	持続		健全			
事業の目的	安全で良質な水道水を継続的に供給するために、水源からじゃ口までのすべての過程における一元的な水質管理を行う「水安全計画」を評価し、必要に応じて見直すことで水質管理の充実を図っていきます。									
取組内容	<p>○ 水安全計画の運用・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> PDCAサイクルによる水安全計画の評価を毎年実施し、適宜見直しを行います。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	浄水場「水安全計画」の評価実施率 (評価実施浄水場数/全浄水場数)					100%	100%	100%	100%	100%



事業・取組名	安全 1 - 3					水質管理体制の充実				
目指す方向性	安全	◎	強靱		持続	○	健全			
事業の目的	水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）を維持し、水質検査結果の精度と信頼性を確保します。また、水質自動分析装置を活用し、市全域で水道水質の常時監視を行います。									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 水道GLPの維持・更新 <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に検査機器の保守管理を行います。 ・水道GLPの更新（4年毎）、サーベイランスの実施（更新中間期） ○ 水道水質の常時監視 <ul style="list-style-type: none"> ・主要な配水系統において、水質自動分析装置による水道水質の常時監視を行います。 ○ その他 <ul style="list-style-type: none"> ・水質検査計画を策定し、計画的に水質検査を実施します。 ・水質管理における人材育成と技術の継承を行います。 ・試験方法等の調査研究を実施します。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	検査機器の保守点検実施率 (点検実施数／予定機器数)					100%	100%	100%	100%	100%
	教育訓練実施率 (訓練実施回数／予定訓練回数)					100%	100%	100%	100%	100%
水質検査計画の実施率					100%	100%	100%	100%	100%	



事業・取組名	安全 1 - 4					新潟市独自の管理目標による水質管理				
目指す方向性	安全	◎	強靱		持続		健全			
事業の目的	国が定めた水質基準値等よりも厳しい、本市独自の「安全性とおいしさの基準」である管理目標値を設定し、より安全でおいしい水道水の供給に取り組んでいきます。									
取組内容	<p>○ 独自管理目標による水質管理</p> <p>穀倉地帯の最下流を水源としていることを踏まえ、安全性の基準として農薬類と総トリハロメタン、おいしさの基準として残留塩素と臭気強度について独自の管理目標値を設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> 農薬類：比の総和で0.1以下（水質基準値等：1以下） 総トリハロメタン：0.05mg/L以下（水質基準値等：0.1以下） 残留塩素：0.2以上～0.5mg/L以下（水質基準値等：0.1以上～1.0以下） 臭気強度：2以下（水質基準値等：3以下） 必要に応じて独自管理目標値の見直しを行います。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	農薬濃度管理目標 （比の総和0.1以下の件数／年間検査件数）					90%	90%	90%	90%	90%
	総トリハロメタン濃度管理目標 （0.05mg/L以下の件数／年間検査件数）					90%	90%	90%	90%	90%
	残留塩素管理目標 （0.5mg/L以下の件数／年間検査件数）					90%	90%	90%	90%	90%
臭気強度管理目標 （2以下の件数／年間検査件数）					90%	90%	90%	90%	90%	



事業・取組名	安全 1 - 5					分かりやすい水質情報の提供				
目指す方向性	安全	◎	強靱		持続		健全			
事業の目的	安全でおいしい水や災害時での水の安定供給など、多様化するお客さまのニーズに対し、水道水を安心して飲める啓発活動やニーズにあった情報提供などを行い、水道水に対する信頼性を高めます。									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 啓発活動の継続・充実 <ul style="list-style-type: none"> ・ ろ過実験やきき水を実際に体験してもらう「体験型広報」を通じて水道水質への理解醸成を図ります。 ○ 分かりやすい情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 水質検査計画および検査結果を公表します。 ・ 公表にあたっては、漫画やアニメーションによる解説を取り入れ、より親しみやすいHPを目指します。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	受講者の理解度 (受講者アンケートで「理解できた」人の割合)					70%	70%	70%	70%	70%
水質検査結果のWeb公表回数					12回	12回	12回	12回	12回	





事業・取組名	安全 2 - 1					指定給水装置工事事業者の技術力向上				
目指す方向性	安全	◎	強靱		持続		健全			
事業の目的	指定給水装置工事事業者の技術力向上により、工事の品質確保やお客さまとのトラブルの未然防止を図ります。									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ (公社) 日本水道協会新潟県支部が主催する講習会への積極的な参加要請、講習内容の適宜見直し <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定給水装置工事事業者講習会への参加を積極的に働きかけます。 ・ 講習会事務局として、適切な施工確保に向けた講習内容の見直しを適宜行います。 ○ 給水装置工事の適切な評価と表彰制度の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 指定給水装置工事事業者の意欲の向上を図るため、表彰制度を継続します。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定 (評価指標)					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	給水装置に係る事故件数 (クロスコネクション、水質汚染事故等)					0件	0件	0件	0件	0件
指定給水装置工事事業者講習会参加率 (講習会参加事業者数 / 指定給水装置工事事業者数)					80.6%	80.6%	80.6%	80.6%	80.6%	

2.事業計画

・前期実施計画（事業・取組内容と目標設定）

強 靱

強靱な施設・体制による給水の確保

自然災害等による被害を最小限にとどめ、断水等が発生した場合であっても、迅速に復旧できるしなやかな水道を目指します。

施 策		事業・取組み	
強靱 1	水道施設の計画的更新	1	浄配水施設の計画的更新・耐震化
		2	管路施設の計画的更新・耐震化
強靱 2	災害対策・体制の強化	1	（再掲）浄配水施設の計画的更新・耐震化
		2	（再掲）管路施設の計画的更新・耐震化
		3	重要施設向け配水管の耐震化
		4	安定取水の確保
		5	事故・災害時における復旧体制の強化
		6	応急給水方式のあり方検討

事業・取組名	強靱 1 - 1		浄配水施設の計画的更新・耐震化					
目指す方向性	安全	○	強靱	◎	持続	○	健全	
事業の目的	浄水処理・送配水機能の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的に更新するとともに、水需要の減少を踏まえて設備能力を見直し、施設規模の適正化を図ります。また、大規模地震が発生した場合でも、影響を最小限にとどめ、水道システムとして機能を損なうことのないよう、浄配水施設整備に併せ、効率的に浄配水施設等の耐震化を進めます。							
取組内容	<p>令和7年度～令和10年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹尾配水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備、自家発電設備、ポンプ設備更新 ・構内水管更新 ・配水池長寿命化 ○ 巻浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 【巻】 ・受変電設備、自家発電設備、ポンプ設備、薬品注入設備、監視制御設備更新 ・ろ過池耐震化長寿命化 ・流量計室築造 【稲島】 ・電気計装設備更新 ・自家発電設備、緊急遮断弁設置 ・配水池長寿命化 <p>令和9年度～令和11年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 阿賀野川浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・薬品注入設備、排水処理機械設備、計装設備更新 ・構内水管耐震化 <p>令和11年度～令和13年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 内野配水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 【青山】 ・活性炭注入設備更新 【内野】 ・受変電設備、自家発電設備、ポンプ設備更新 ・構内水管耐震化 ・配水池長寿命化 ○ 信濃川浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・監視制御設備、活性炭注入設備更新 ・構内水管耐震化 ・沈砂池長寿命化 <p>令和13年度～令和16年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 戸頭浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備、ポンプ設備、薬品注入設備、活性炭注入設備、監視制御設備更新 ・沈澱池ろ過池屋根改修 ・電気室薬注室築造 <p>令和14年度～令和16年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 満願寺浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 【満願寺】 ・活性炭注入設備、監視制御設備更新 ・構内水管耐震化 【金津】 ・受変電設備、自家発電設備、ポンプ設備更新 							
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）				前期計画期間(5年)			
					令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
施設整備事業数の計画実績対比 (完了事業数/全事業数)				0/7	0/7	0/7	2/7	3/7



事業・取組名	強靱 1 - 2 管路施設の計画的更新・耐震化								
目指す方向性	安全	○	強靱	◎	持続	○	健全		
事業の目的	大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできる限りお客さまに届けられるよう、老朽化管路を地震に強い耐震管へ更新し、管路施設の耐震化を進めます。								
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽基幹管路の更新 導水管・送水管・配水管（400mm以上） ・令和7年度～令和16年度 21.9km ○ 老朽配水支管の更新 配水管（400mm未満） ・令和7年度～令和16年度 61.3km 								
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）				前期計画期間(5年)				
					令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	老朽基幹管路更新延長				2,550m	2,400m	2,500m	2,400m	1,850m
老朽配水支管更新延長				4,700m	4,600m	5,750m	6,450m	6,350m	



事業・取組名	強靱2-1 (再掲) 浄配水施設の計画的更新・耐震化							
目指す方向性	安全	○	強靱	◎	持続	○	健全	
事業の目的	浄水処理・送配水機能の信頼性と安定性を維持していくため、老朽化した設備を計画的に更新するとともに、水需要の減少を踏まえて設備能力を見直し、施設規模の適正化を図ります。また、大規模地震が発生した場合でも、影響を最小限にとどめ、水道システムとして機能を損なうことのないよう、浄配水施設整備に併せ、効率的に浄配水施設等の耐震化を進めます。							
取組内容	<p>令和7年度～令和10年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 竹尾配水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備、自家発電設備、ポンプ設備更新 ・構内水管更新 ・配水池長寿命化 ○ 巻浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 【巻】 ・受変電設備、自家発電設備、ポンプ設備、薬品注入設備、監視制御設備更新 ・ろ過池耐震化長寿命化 ・流量計室築造 【稲島】 ・電気計装設備更新 ・自家発電設備、緊急遮断弁設置 ・配水池長寿命化 <p>令和9年度～令和11年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 阿賀野川浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・薬品注入設備、排水処理機械設備、計装設備更新 ・構内水管耐震化 <p>令和11年度～令和13年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 内野配水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 【青山】 ・活性炭注入設備更新 【内野】 ・受変電設備、自家発電設備、ポンプ設備更新 ・構内水管耐震化 ・配水池長寿命化 ○ 信濃川浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・監視制御設備、活性炭注入設備更新 ・構内水管耐震化 ・沈砂池長寿命化 <p>令和13年度～令和16年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 戸頭浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> ・受変電設備、ポンプ設備、薬品注入設備、活性炭注入設備、監視制御設備更新 ・沈澱池ろ過池屋根改修 ・電気室薬注室築造 <p>令和14年度～令和16年度</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 満願寺浄水場施設整備事業 <ul style="list-style-type: none"> 【満願寺】 ・活性炭注入設備、監視制御設備更新 ・構内水管耐震化 【金津】 ・受変電設備、自家発電設備、ポンプ設備更新 							
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）				前期計画期間(5年)			
					令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
施設整備事業数の計画実績対比 (完了事業数/全事業数)				0/7	0/7	0/7	2/7	3/7



事業・取組名	強靱2-2 (再掲) 管路施設の計画的更新・耐震化								
目指す方向性	安全	○	強靱	◎	持続	○	健全		
事業の目的	大規模地震が発生した場合でも、生活や都市活動に必要な水道水をできる限りお客さまに届けられるよう、老朽化管路を地震に強い耐震管へ更新し、管路施設の耐震化を進めます。								
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 老朽基幹管路の更新 導水管・送水管・配水管（400mm以上） ・令和7年度～令和16年度 21.9km ○ 老朽配水支管の更新 配水管（400mm未満） ・令和7年度～令和16年度 61.3km 								
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）				前期計画期間(5年)				
					令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	老朽基幹管路更新延長				2,550m	2,400m	2,500m	2,400m	1,850m
老朽配水支管更新延長				4,700m	4,600m	5,750m	6,450m	6,350m	



事業・取組名	強靱 2-3 重要施設向け配水管の耐震化																							
目指す方向性	安全		強靱	◎	持続		健全																	
事業の目的	災害時に早急な対策・復旧計画の策定が求められる行政機関や、被災した市民の生命に係る救急医療施設などの重要施設向け配水支管の耐震化を優先的に進め、被災対応の充実を図ります。																							
取組内容	<p>○ 重要施設向け配水管の耐震化</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>行政機関</th> <th>医療機関</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>対象施設数</td> <td>14</td> <td>43</td> <td>57</td> </tr> <tr> <td>令和6年度までの完了施設数</td> <td>12</td> <td>36</td> <td>48</td> </tr> <tr> <td>令和7年度～令和16年度の予定施設数</td> <td>2</td> <td>7</td> <td>9</td> </tr> </tbody> </table>									行政機関	医療機関	合計	対象施設数	14	43	57	令和6年度までの完了施設数	12	36	48	令和7年度～令和16年度の予定施設数	2	7	9
	行政機関	医療機関	合計																					
対象施設数	14	43	57																					
令和6年度までの完了施設数	12	36	48																					
令和7年度～令和16年度の予定施設数	2	7	9																					
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）			前期計画期間(5年)																				
				令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度																
配水管耐震化完了施設数			49/57 (行政1)	51/57 (行政1・医療1)	51/57	52/57 (医療1)	54/57 (医療2)																	



事業・取組名	強靱 2-4 安定取水の確保									
目指す方向性	安全		強靱	◎	持続		健全			
事業の目的	夏季の河川流量低下に伴い常態化している塩水遡上など取水リスクへの対応を図ります。									
取組内容	<p>○塩水遡上などの取水リスクへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塩水遡上対応マニュアルに基づいた対応を確実に実行し、適宜マニュアルの見直しを図ります。 ・塩水遡上対策においては関係機関との協力体制構築と協議・調整を図ります。 ・長期構想を踏まえた取水位置変更等の検討を進めていきます。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	塩水遡上対応マニュアルの運用・見直し					実施	実施	実施	実施	実施
	関係機関との協議・調整					実施	実施	実施	実施	実施
長期構想を踏まえた取水位置変更等の検討					後期実施計画期間に計画着手					



事業・取組名	強靱 2-5 事故・災害時における復旧体制の強化						
目指す方向性	安全		強靱	◎	持続	健全	
事業の目的	事故・災害時などの非常時において、迅速かつ的確に応急給水する体制や、水道施設を早期に復旧する体制の強化を図るとともに、応急給水設備の整備、給水・復旧に係る各種災害協定や関係団体・地域住民との連携の強化などを図ります。						
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 事故・災害時に備えた各種災害時マニュアルの作成・更新 <ul style="list-style-type: none"> ・各種マニュアルの見直し拡充 (事業継続計画(BCP)、危機事象対応マニュアル、水道局震災対策計画、応援要請・受入マニュアル) ○ マニュアルに基づく訓練の実施(局内・関連他事業者との連携) ○ 応急給水設備の整備 <ul style="list-style-type: none"> ・住民用応急給水設備の整備に向けた調整 ○ 災害時の協力体制および連携体制の拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・民間企業との協力体制構築に向けた調整 ・地域住民との協働体制構築に向けた調整 ・避難所等への非常用給水用具の整備に向けた調整 						
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定(評価指標)		前期計画期間(5年)				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	各種マニュアルの作成・見直し		実施	実施	実施	実施	実施
	マニュアルに基づく訓練の実施		実施	実施	実施	実施	実施
応急給水の機能強化		各種協定先との応急給水訓練の実施 地域住民との協働体制構築に向けた検討・調整					



事業・取組名	強靱 2 - 6					応急給水方式のあり方検討				
目指す方向性	安全		強靱	◎	持続		健全			
事業の目的	事故・災害などの非常時において、迅速かつ的確に応急給水する体制を確立するとともに、応急給水設備の整備を図り、応急給水の機能強化を図ります。									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 応急給水体制・機能の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・災害時において、迅速かつ的確に応急給水する体制を確立します。 ○ 給水所のあり方検討 <ul style="list-style-type: none"> ・市民に分かりやすく、使いやすい給水所のあり方を検討します。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間（5年）				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
応急給水に係る考え方の整理					他事業体の事例調査・研究		応急給水方式の整理・検討			



2.事業計画

- ・前期実施計画（事業・取組内容と目標設定）

持 続

環境の変化に柔軟に対応した水道サービスの持続

環境の変化やお客さまのニーズに柔軟に対応した、持続可能な水道事業運営を目指します。

施 策		事業・取り組み	
持続 1	お客さまとの 双方向コミュニケーションの充実	1	効果的で分かりやすい広報の実施
		2	お客さまの意見・要望の把握
		3	分かりやすい経営情報の開示
持続 2	技術・知識を有する人材の 確保と育成	1	人材の確保と育成、専門性の強化
		2	近隣事業体職員も含めた技術力向上
		3	レジリエンス能力の向上
持続 3	環境に配慮した事業運営	1	脱炭素化への取り組みの推進
		2	浄水発生土有効利用の促進
		3	建設副産物の再利用促進

事業・取組名	持続 1 - 1					効果的で分かりやすい広報の実施				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全			
事業の目的	「新潟市水道局広報戦略」～広報活動の考え方～に基づき、お客さまとのコミュニケーションを図る機会を大切にしながら、水道に関する様々な情報を分かりやすく発信していきます。これらを通じて、お客さまの水道事業に対する理解・関心をより一層高めるとともに、水道事業に対する満足度のさらなる向上を目指します。									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新たな「新潟市水道局広報戦略」の策定 <ul style="list-style-type: none"> ・他事業体の広報戦略を調査・研究し、新たな中長期経営計画との整合性を図るとともに、急速に変化する社会環境に対応する新しい広報戦略を策定します。 ・マスタープランの実施計画に合わせて、適宜見直しを図ります。 ○ 広報紙「水先案内」（年間4回発行）による広報の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・広報紙「水先案内」は水道メーター検針に併せ、全世帯に配布が可能な広報媒体であることから、これまでどおり、水道事業に関する課題や災害対策のほか、お客さまの日常生活に身近な水道に関する知りたい情報を分かりやすく広報していきます。 ○ 次世代を担う子どもたちを対象とした広報活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・小学4年生を対象とした浄水場見学、水道出張授業を実施します。 ・社会科授業の副読本として作成しているマンガを活用した子ども向けパンフレットの作成・配布を行います。 ○ お客さま参加型・体験型の広報活動の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・お客さまとのコミュニケーションを通じて、楽しみながら学ぶことができる機会の創出として、ウォーターバー（きき水）や水づくり体験などを実施します。 ○ SNSによる情報発信 <ul style="list-style-type: none"> ・SNSを利用している若年層を中心に水道に興味・関心を持ってもらうため、SNSによる情報発信を積極的に進めていきます。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	新たな広報戦略の調査～策定～運用					調査	策定	運用	運用	評価・見直し
	広報紙「水先案内」の年間4回発行					年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行	年4回発行
	水道出張授業の実施					実施	実施	実施	実施	実施
各種イベントへの出展					3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	



事業・取組名	持続 1 - 2					お客さまの意見・要望の把握				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全			
事業の目的	本市水道事業における基本理念である「すべてのお客さまに信頼される水道」を実現するために、水道局に対するお客さまの評価や水道事業への要望を的確に把握し、今後の水道事業運営やサービス向上につなげていきます。									
取組内容	<p>○ お客さまアンケート調査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さまアンケート調査を継続的に実施し、水道局が実施する事業や広報活動の効果を測るとともに、お客さまの水道事業に対する意見・要望を的確にとらえ、事業運営の基礎資料とします。 <p>○ 水道モニター制度の運用</p> <ul style="list-style-type: none"> 水道モニター制度を継続実施します。 研修会や水道施設見学会を通じて水道事業に関する知識・理解を深めていただいたうえで、お客さまの視点から意見や要望をいただきます。いただいた意見をもとに、今後の水道事業や効果的な広報のあり方について考えていきます。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	アンケート調査項目や調査方法の検討 アンケートの実施					調査・検討 実施	実施	実施	実施	実施
水道モニター制度の実施					実施	実施	実施	実施	実施	



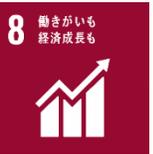
事業・取組名	持続 1 - 3					分かりやすい経営情報の開示				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全			
事業の目的	これからの水道事業に要する費用負担のあり方や経営の効率化に対する取り組みなどについて、分かりやすくお客さまにお知らせし、水道事業経営の透明性の向上を図ります。									
取組内容	<p>○ 料金の仕組みやコスト情報の提供、水道事業の経営効率化に関する取り組み情報の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> お客さまの関心の高い、水道事業の経営情報や水道料金などに関する情報を、広報紙やホームページなどを通じて積極的に提供していきます。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間（5年）				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	料金の仕組みやコスト情報の提供 （ホームページおよび水先案内に掲載）					2回/年 以上	2回/年 以上	2回/年 以上	2回/年 以上	2回/年 以上
経営効率化に関する取り組みの実績・計画等の提供 （ホームページおよび水先案内に掲載）					2回/年 以上	2回/年 以上	2回/年 以上	2回/年 以上	2回/年 以上	



事業・取組名	持続 2 - 1					人材の確保と育成、専門性の強化				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全			
事業の目的	水道事業は専門性が高いため継承すべき技術が多く、施設整備計画の策定、設計施工管理、危機管理および現場対応力など、これらはいずれも高度な知識と経験が求められます。 事業の持続のためには、専門知識と実務経験を併せ持つ職員の確保と育成が重要となります。									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 技術系新規採用職員の独自採用、教育配転の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・技術系新規採用職員の独自採用方式を継続します。 ・新規採用職員のジョブローテーションの指針に従って教育配転を行います。 ○ 各種研修の実施・職員研修基本計画の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・新潟市水道局職員研修基本計画に基づく研修を確実に実施します。 ・職員一人一人が、意欲的に専門性を身につけ、実務においてその能力を生かし、成長していく基盤となる研修計画の充実を図ります。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間（5年）				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	技術系新規採用職員の独自採用、教育配転					実施	実施	実施	実施	実施
職員研修受講者アンケートでの「理解度」 ※「十分理解できた」および「ある程度理解できた」の合計					80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	80%以上	



事業・取組名	持続 2 - 2					近隣事業体職員も含めた技術力向上				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全			
事業の目的	<p>水道事業は専門性が高いため継承すべき技術が多く、施設整備計画の策定、設計施工管理、危機管理および現場対応力など、これらはいずれも高度な知識と経験が求められます。日常業務はもとより、各種研修の充実を図ることにより、水道技術者に必要な技術力の向上を図ります。</p> <p>加えて、県内最大の水道事業者として、県内水道事業全体の技術力向上を図る観点から、他事業体職員の内部研修への受け入れを積極的に行い、広域連携の強化を図ります。</p>									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 県内水道事業体職員の技術研修受け入れの継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内水道事業体職員を受け入れて実施している本市の技術研修の一部を、今後も継続して開催していきます。 ○ 県内他事業体職員も受講可能な内部研修メニューの拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本市水道局職員向けに実施している内部研修において、県内他事業体職員が合同で受講可能な研修を拡大していくことにより、県内水道事業全体の技術力向上に積極的に取り組んでいきます。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	県内水道事業体職員を受け入れた技術研修の実施数					3回以上	3回以上	3回以上	3回以上	3回以上



事業・取組名	持続 2-3					レジリエンス能力の向上				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全	◎		
事業の目的	水道事業は給水量・料金収入の減少、施設の更新需要の増大及び国内で頻発する大規模災害を踏まえた危機管理対策など、多くの課題に直面しています。こうした課題に対し、事務事業を効果的・効率的に推進するとともに、持続可能な水道システムを支える、高いレジリエンス（回復力・復元力）能力を備えた人的集団としての組織の構築を進めます。									
取組内容	○ レジリエンス能力の向上に向けた人事異動の実施 ・ 計画的かつ適切な人事異動により、長期的な視点で職員の対応能力を高め、組織全体として災害発生時等に対応可能な「レジリエンス」能力の向上を図ります。									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間（5年）				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	レジリエンス能力の向上を図る計画的な人事異動					実施	実施	実施	実施	実施



事業・取組名	持続3-1					脱炭素化への取り組みの推進				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全			
事業の目的	水道局として環境負荷の少ない水作りを推進するため、環境負荷低減に向けた取り組みを推進していきます。									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 再生可能エネルギー等の有効利用 <ul style="list-style-type: none"> ・遊休資産への太陽光発電設備の導入検討及び実施。 ○ 環境報告書の作成・公表 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間（5年）				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	遊休資産への太陽光発電設備の導入検討及び実施					実施	実施	実施	実施	実施
環境報告書の作成、公表					実施	実施	実施	実施	実施	



事業・取組名	持続3-2					浄水発生土有効利用の促進				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全			
事業の目的	浄水処理で発生する浄水発生土の定常的な有効利用を図ります。									
取組内容	<p>○浄水発生土の有効利用 循環型社会実現の一環として、全量有効利用できるよう取り組みます。 有価物としてのPR推進 有償売却の促進</p>									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間（5年）				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	浄水発生土の有効利用率					100%	100%	100%	100%	100%
有価物としてのPR推進					実施	実施	実施	実施	実施	



事業・取組名	持続3-3					建設副産物の再利用促進				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全			
事業の目的	建設副産物の再利用により、CO ₂ 排出量の削減や省エネルギー化を図り、環境保全への社会的責任を果たします。									
取組内容	<p>○ 建設発生土の有効利用促進、リサイクル率向上方策の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 建設リサイクル法及び資源有効利用促進法に基づき、アスファルト廃材およびコンクリート廃材を再生プラントにて再資源化します。また、建設発生土については搬出先の適正を確保するための方策を講じ、再生資源として有効利用の促進に努めます。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	建設副産物のリサイクル率					95%	95%	95%	95%	95%



2.事業計画

- ・前期実施計画（事業・取組内容と目標設定）

健全

後世に健全な水道を引き継ぐための経営基盤強化

限られた経営資源を最大限に生かし、健全な水道事業運営を後世に引き継ぎます。

施策		事業・取り組み	
健全 1	経営基盤の強化	1	適切な投資水準と施設更新における効率的な事業手法の検討
		2	遊休資産の有効活用
		3	後世に健全な水道を引き継ぐための料金のあり方検討
		4	業務改善の継続的实施
		5	機能的・効率的な組織体制の構築
		6	デジタル技術の導入による効果的かつ効率的な事業運営の実現

事業・取組名	健全1-1					適切な投資水準と施設更新における効率的な事業手法の検討				
目指す方向性	安全		強靱		持続		健全	◎		
事業の目的	人口減少に伴い給水収益の大幅な減少が見込まれる中、水道施設の老朽化が進み、更なる更新需要の増大が見込まれています。計画的な施設更新の実施に向け、適切な投資水準を検討するとともに、投資効果の最大化が図られるよう、効率的な事業手法を検討します。									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 適切な投資水準の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・管路施設の更新にあたり、局内外の実施体制を踏まえ、実施可能な投資水準を検討します。 ○ 施設更新における効率的な事業手法の検討 <ul style="list-style-type: none"> ・浄配水施設及び管路施設の更新にあたり、今後の経営基盤を踏まえ、効率的な事業手法を検討します。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	適切な投資水準の検討					検討	検討	実施可否判断		
施設更新における効率的な事業手法の検討					検討	検討	検討	実施可否判断		



事業・取組名	健全 1-2					遊休資産の有効活用				
目指す方向性	安全		強靱		持続		健全	◎		
事業の目的	施設統廃合計画により廃止となった浄配水場等の遊休資産を有効活用することにより、財政基盤の強化を図ります。									
取組内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 施設有効活用に向けた情報収集活動や調査・研究 ・ 遊休資産の有効活用について、情報収集活動や調査・研究を行います。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間（5年）				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	有効活用の調査・研究					実施	実施	実施	実施	実施



事業・取組名	健全1-3					後世に健全な水道を引き継ぐための料金のあり方検討				
目指す方向性	安全		強靱		持続		健全	◎		
事業の目的	水需要や財政収支の状況を踏まえ、将来にわたり安全な水の安定供給の持続が可能となるよう、維持管理・更新の時代に即した料金制度の検討を行います。									
取組内容	<p>○ 料金体系の調査・研究、見直し案の検討、料金改定の必要性、時期、水準の検討</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後の水需要見込や老朽施設の更新時期等に基づく事業の中長期的な収支見通しを立て、料金改定の必要性や時期、水準等について検討するとともに、適正な料金制度による見直し案の検討を行います。 (公社)日本水道協会の「水道料金算定要領」に基づく料金シミュレーションの実施 新たな料金制度の見直し案の検討 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定(評価指標)					前期計画期間(5年)				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	財務状況による水道料金見直し等の調査・検討と改定の実施					実施	実施	実施	実施	実施



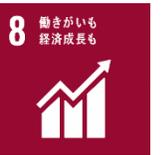
事業・取組名	健全 1-4					業務改善の継続的实施				
目指す方向性	安全		強靱		持続		健全	◎		
事業の目的	業務改善の取り組みを通じて業務の質の向上を図るとともに、効率的な業務執行につなげます。併せて費用の最適化を図り、支出の削減につなげます。									
取組内容	<p>◎ 業務改善の継続的な実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 業務改善を継続的に実施することにより、生産性の向上とコスト削減を図ります。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間（5年）				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	業務改善を毎年度実施する					実施	実施	実施	実施	実施



事業・取組名	健全1-5					機能的・効率的な組織体制の構築				
目指す方向性	安全		強靱		持続	◎	健全	◎		
事業の目的	水道事業は給水量・料金収入の減少、施設の更新需要の増大及び国内で頻発する大規模災害を踏まえた危機管理対策など、多くの課題に直面しています。こうした課題に対し、事務事業を効果的・効率的に推進するとともに、持続可能な水道システムを支える、高いレジリエンス（回復力・復元力）能力を備えた人的集団としての組織の構築を進めます。									
取組内容	○ 機能的・効率的な組織体制の構築 ・経営資源（人材）を最大限に活用するとともに、災害発生時等にも対応できる、最適な組織体制の調査・検討を行います。その結果を踏まえ、業務量の増減及び目標達成度等を考慮した組織の見直しを適宜実施し、意思決定から実行までの速度の向上を図ります。									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）					前期計画期間（5年）				
						令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	最適な組織体制の調査・検討・見直し					実施	実施	実施	実施	実施



事業・取組名	健全1-6-① デジタル技術の導入による効果的かつ効率的な事業運営の実現									
目指す方向性	安全		強靱		持続		健全	◎		
事業の目的	デジタル技術やシステムの導入により、業務の中で得られる多種多様な情報を整理し活用することで、データに基づく効果的な計画立案につなげます。									
取組内容	<p>○ スマートメーターの導入に向けた機能評価及び試行運用の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自動検針による省力化やデータの利活用について効果検証を進め、後期計画期間内の一部導入を目指します。 									
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）				前期計画期間(5年)					
					令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	
	スマートメーターの機能評価、効果検証及び一部導入				機能評価	機能評価	試行運用 効果検証	試行運用 効果検証	試行運用 効果検証	



事業・取組名	健全 1 - 6 - ② デジタル技術の導入による効果的かつ効率的な事業運営の実現								
目指す方向性	安全		強靱		持続		健全	◎	
事業の目的	デジタル技術やシステムの導入により、業務の中で得られる多種多様な情報を整理し活用することで、データに基づく効果的な計画立案につなげます。								
取組内容	<p>○デジタル技術を活用した浄配水施設の効率的資産管理の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設・設備情報の一元管理による健全度評価に基づいた整備計画を効率的に策定可能とする浄配水施設管理システムを導入します。 保全業務におけるデジタル技術を活用した業務効率改善を検討し、ミクロマネジメントの精度向上を検証します。 浄配水施設管理システムを活用して次期マスタープランに向けて施設整備計画を策定します。 								
計画期間の 年次計画	計画期間の目標設定（評価指標）				前期計画期間（5年）				
					令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
	浄配水施設管理システムの導入				調査・検討	調査・検討	調査・検討	実施	
	ミクロマネジメント精度向上検証								検証
浄配水施設管理システム活用による施設整備計画策定				後期実施計画期間に策定予定					





財政収支計画

3.財政収支計画

① 水需要予測

(単位：千m3)

	実績 令和5年度	見込 令和6年度	前期計画値				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
有収水量	90,140	88,674	87,771	86,822	86,126	84,976	84,078

② 収益的収支

(単位：億円/税抜)

	実績 令和5年度	見込 令和6年度	前期計画値				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	156.7	164.2	191.8	190.0	190.2	188.0	187.0
給水収益	133.0	138.1	169.1	167.8	166.8	165.2	164.0
他会計負担金	1.4	1.2	1.4	1.2	1.2	1.2	1.2
加入金	1.7	1.7	1.6	1.7	1.7	1.7	1.7
その他の収益	20.6	23.2	19.7	19.3	20.5	19.9	20.1
支出	151.7	164.9	171.0	182.6	172.6	173.9	173.3
人件費	22.7	24.1	23.4	23.7	22.8	24.4	23.3
受水費	4.3	4.2	4.1	4.2	4.2	4.2	4.2
修繕費	15.0	17.9	23.8	33.8	22.7	20.6	17.5
委託料	22.2	22.7	25.1	24.2	24.1	24.4	25.5
減価償却費	61.1	62.6	65.2	67.1	69.2	71.2	73.4
企業債利息	5.6	5.6	6.1	6.5	7.1	7.6	8.2
その他の費用	20.8	27.8	23.3	23.1	22.5	21.5	21.2
収支（純損益）	5.0	▲ 0.7	20.8	7.4	17.6	14.1	13.7

3.財政収支計画

・収益的収支の積算

- 1 給水収益 令和7年度以降における総有収水量予測値を基準に算出しています。
- 2 他会計負担金 公営企業の繰出基準をもとに算定しています。
- 3 加入金 新規の水道加入者数等を実績データ等により推測し、算定しています。
- 4 その他の収益 上記1～3以外の収入項目の積み上げによります。
- 5 人件費 令和6年度の給与水準を基に算定しています。
- 6 受水費 用水供給事業および隣接事業者からの受水量により算定しています。
- 7 修繕費 浄配水施設および配水管等の維持補修費の積み上げによります。
- 8 委託料 施設の管理運営および電算システム等委託費の積み上げによります。
- 9 減価償却費等 既存資産に計画期間内における新規取得資産を加えて算定しています。
- 10 企業債利息 既借入分の利息額に新規借入に係る利息額を加えて試算しています。

3.財政収支計画

③ 資本的収支

(単位：億円/税抜)

	実績 令和5年度	見込 令和6年度	前期計画値				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
収入	59.1	63.0	52.3	78.5	55.5	56.4	49.0
企業債	47.4	56.2	36.4	56.1	47.1	49.9	43.3
国庫補助金	3.7	1.8	6.0	5.4	5.4	3.2	2.7
工事負担金・出資金等	8.0	5.0	9.9	17.0	3.0	3.3	3.0
支出	134.6	134.0	113.8	160.0	140.6	147.3	130.6
企業債償還金	34.9	34.1	34.0	35.4	36.1	36.0	34.1
浄配水場施設整備費	28.1	26.9	4.0	40.8	36.4	37.7	22.9
管路整備費	68.1	69.8	71.2	79.8	63.7	68.9	69.0
水道メーター購入費等	3.5	3.2	4.6	4.0	4.4	4.7	4.6
収支（資本的収支不足額）	▲ 75.5	▲ 71.0	▲ 61.5	▲ 81.5	▲ 85.1	▲ 90.9	▲ 81.6

④ 財源および企業債

(単位：億円/税抜)

	実績 令和5年度	見込 令和6年度	前期計画値				
			令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度
資本的収支不足額に対する当年度補填可能額	125.7	102.8	109.6	113.1	110.3	101.5	89.4
当年度末資金残高	50.2	31.8	48.1	31.6	25.2	10.6	7.8
企業債残高	501.1	523.2	525.5	546.3	557.2	571.1	580.3

3.財政収支計画

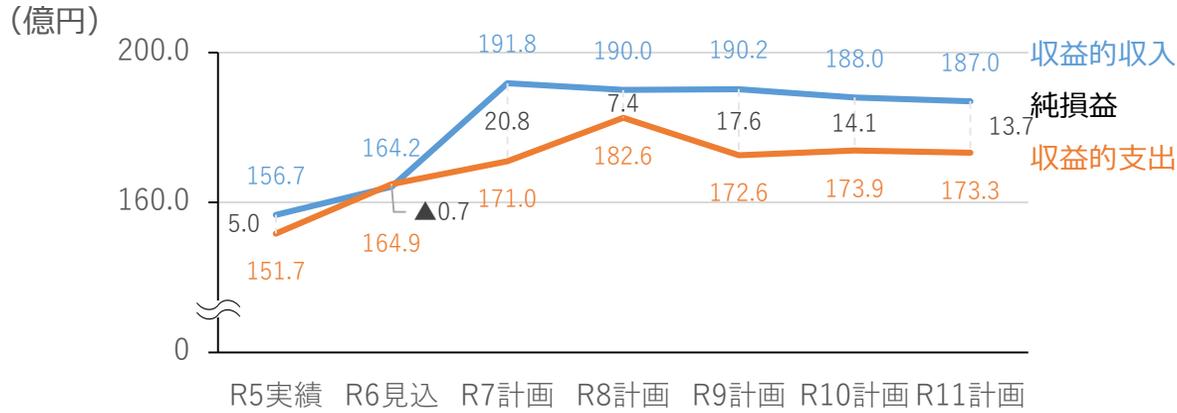
・資本的収支の積算

- | | | |
|---|-------------|--|
| 1 | 企 業 債 | 建設改良費の45%を基本としています。多額の設備投資に対応するため企業債充当率は高めに設定しております。 |
| 2 | 国 庫 補 助 金 | 配水管更新に係る補助金の積み上げによります。 |
| 3 | 工事負担金・出資金等 | 他事業体からの依頼による配水管移設工事に係る負担金を、実績データ等をもとに算定しています。出資金については公営企業の繰出基準をもとに算定しています。 |
| 4 | 企 業 債 償 還 金 | 元金償還予定額の積み上げによります。 |
| 5 | 浄配水場施設整備費 | 投資計画に基づく事業費の積み上げによります。 |
| 6 | 管 路 整 備 費 | 投資計画に基づく事業費の積み上げによります。 |
| 7 | 水道メーター購入費等 | 水道メーター、維持管理用機材および水質検査機器購入費等の積み上げによります。 |

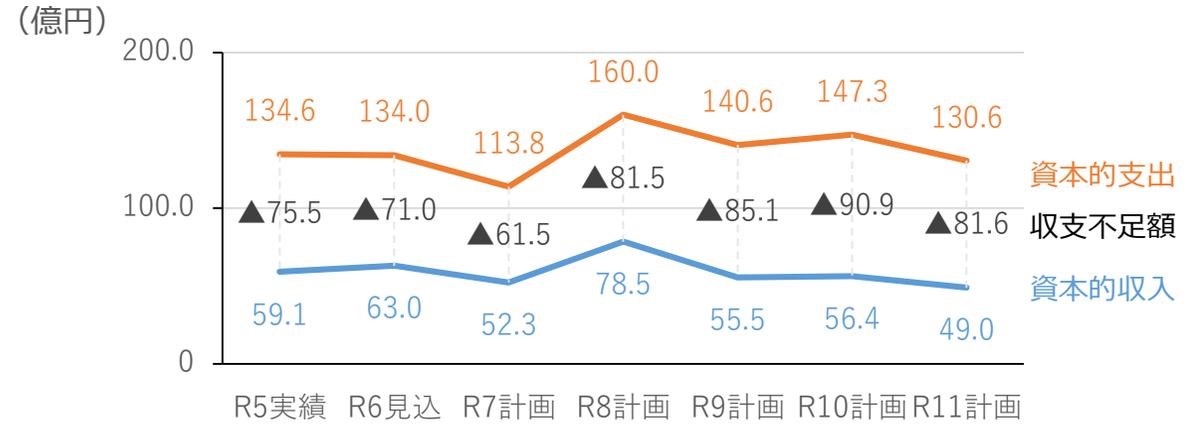
3.財政収支計画

(単位：億円/税抜)

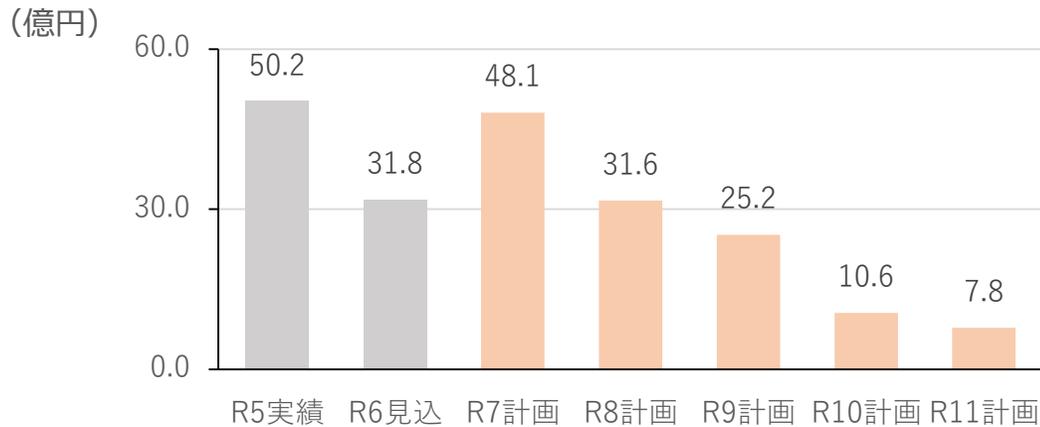
純損益



資本的収支不足額



資金残高



企業債残高

